

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	神戸看護専門学校
設置者名	公益社団法人神戸市民間病院協会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程	3年課程（新）	夜・通信	1905 時間	240 時間	
	3年課程（旧）	夜・通信	1380 時間	240 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
（備考）					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://kobe-kango.ac.jp/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第 2 号の 2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の 2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	神戸看護専門学校
設置者名	公益社団法人神戸市民間病院協会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	公益社団法人神戸市民間病院協会 理事会
役割	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の理事会で協会・学校の収支報告を行うとともに、看護専門学校の運営、学生の状況、学校行事、学生の経済状況、就職活動の支援、実習状況などを報告し、理事から随時専門的見地に基づき問題点への対応や学校の今後の運営などに関する助言をいただく。 ・当協会の理事会が学校運営を統括する。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
医療法人康雄会理事長 西病院理事長	令和 4 年 5 月 26 日～令和 6 年 5 月	当協会会長として入学試験会議、管理会議などに参画している。
弁護士	令和 4 年 5 月 26 日～令和 6 年 5 月	協会の顧問弁護士（平成 21 年 4 月～現在）であり学校・学生に関わる問題を相談し、的確な助言をいただいている。
（備考）理事会の理事 13 名のうち、学校長・協会事務局長を除く 11 名が外部人材・非常勤である。1 名は弁護士である。10 名は本校卒業生が就職している病院の理事長・院長であり、医療業界で活躍されている医師である。		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	神戸看護専門学校
設置者名	公益社団法人神戸市民間病院協会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>科目ごとの学生による授業評価を基に、毎年授業計画・授業内容を見直し改定している。</p> <p>また、学生には全科目の授業計画を載せた「授業概要」を配布し、入学時にはガイダンスを行っている。</p> <p>「授業計画」をホームページに公開</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページ http://kobe-kango.ac.jp/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>「授業概要」に科目ごとの評価方法について記載しており学生に配布している。また、科目担当者からも授業開校時に評価方法について学生に説明を行っている。評価の方法は、筆記試験・口述・面接試験・レポート・実技試験・実習などがある。評価点は100点満点中60点以上を合格とし、学則第9条に基づき成績の評価をA B C Dの4段階に分け、A B Cを合格としDを不合格とする。</p> <p>学則に則し評価に関する詳細内容を履修規定とし「学生便覧」に記載して学生に配布するとともに入学時ガイダンスを行っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学則第9条から第11条に単位の認定・成績の評価について規定し、履修規定に則して評価を行っている。 各科目の成績評価の方法は、学生に配布している「授業概要」に記載通り実施し、学則第9条及び履修規定に基づきA B C Dの4段階で評価を行っている。 成績については、各科目の成績評価の平均点を算出し、受講学生に公表している。 前年度成績分布をホームページで公表している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページ http://kobe-kango.ac.jp/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 学則第31条における卒業認定会議により、卒業に関する事項を定めている学則第12条に則して卒業を認定している。 以上の内容が収載されている「学生便覧」を学生に配布している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページ http://kobe-kango.ac.jp/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	神戸看護専門学校
設置者名	公益社団法人神戸市民間病院協会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ http://kobe-kango.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	ホームページ http://kobe-kango.ac.jp/
財産目録	ホームページ http://kobe-kango.ac.jp/
事業報告書	ホームページ http://kobe-kango.ac.jp/
監事による監査報告（書）	ホームページ http://kobe-kango.ac.jp/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		看護専門課程	3年課程	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	新カリキュラム 106 旧カリキュラム 99 単位時間/単位	新カリキュラム 83 旧カリキュラム 76 単位時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 23/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			新カリキュラム 106・旧カリキュラム 99 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
210人		216人	0人	13人	71人	84人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 新カリキュラムでは3年間で講義や演習の83科目83単位2025時間、実習12科目23単位990時間の合計106単位3015時間、旧カリキュラムでは76科目76単位1965時間、実習12科目23単位1035時間を履修する。実習は病院やクリニック、その他の地域での医療・介護・福祉施設などで実施している。授業概要や実習要綱に詳細内容を記している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験方法は、筆記試験・口述・面接試験・レポート・実技試験・実習などがある。評価方法は、100点満点中60点以上を合格とし、学則第9条に基づきA B C Dの4段階評価とする。実習に関してはポートフォリオブリック評価を活用している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 所定の単位数（106単位）を全て修得し、出席すべき日数の3分の2以上出席したものに對し卒業が認定される。学則第12条に基づく。

学修支援等 (概要) 国家試験対策、就職試験対策、看護技術習得に向けた対策、特別講演、定期的な面接、 随時学生相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
61人 (100%)	1人 (1.6%)	59人 (96.8%)	1人 (1.6%)
(主な就職、業界頭) 病院			
(就職指導内容) 模擬面接、エントリーシートの書き方指導などの個別指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護国家試験の受験資格取得			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
214人	7人	3.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
	350,000 円	360,000 円	360,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ http://kobe-kango.ac.jp/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校評価ガイドラインで掲げられている項目をもとに「教育理念・教育目的」「教育目標」「教育課程経営」「教授・学習・評価過程」「経営・管理過程」「卒業・就職・進学」「地域社会・国際交流」について毎年実施している自己点検の結果を評価して、教育活動に反映している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
医療法人康雄会西病院理事長	令和4年5月26日～ 令和6年5月	業界・卒業生就職先
医療法人社団さくら会高橋病院 理事長	令和4年5月26日～ 令和6年5月	業界・卒業生就職先
医療法人寛仁会吉田アーデント病院 理事長	令和4年5月26日～ 令和6年5月	業界・卒業生就職先
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ http://kobe-kango.ac.jp/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ http://kobe-kango.ac.jp/

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	神戸看護専門学校
設置者名	公益社団法人神戸市民間病院協会

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		-	-	-
内 訳	第Ⅰ区分	-	-	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				-
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科 を含む。）及び専門学校（修業 年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	-	人	人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に 連続して該当	0人	人	人
計	-	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科 を含む。）及び専門学校（修業 年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	0人
年間計	-

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。